

関西の城探訪科 第7回目 二条城 探訪

日時 2021年11月19日(金) 10:00~12:00

東大手門前に集合し、班単位で二の丸御殿・二の丸庭園・本丸庭園・天守閣跡・清流園の順で二条城を探訪しました。

● 二条城について

1603年(慶長8年)徳川家康が京都御所の守護と将軍上洛時の宿泊所とするために築城しました。1634年(寛永11年)に3代将軍家光が入城した以降は幕末に至るまで200年以上使われることはなかったようです。15代将軍慶喜が1867年(慶応3年)に大政奉還の意思を表明した場所として知られています。

● 国宝 二の丸御殿見学

二の丸御殿の正面にある豪華絢爛な「唐門」に入り、御殿に入場しました。



＜唐門＞



＜二の丸御殿の車寄＞

御殿は6つの棟からなり、狩野派の絵師の筆になる種々の障壁画や欄干、飾り金具等で装飾されています。

私たちは ①遠侍(来殿者の控え場所) ②式台(将軍への用件や貢物を取り次ぐ場所) ③大広間(3つの間からなり将軍が来殿者と対面する場所、大政奉還は大広間の中の間、二の間を開け広げて行われた) ④蘇鉄の間 ⑤黒書院(大広間に次ぐ公式の面談場所) ⑥白書院(将軍の居室)の順に廊下をつたって6つの棟を見学しました。また各部屋を繋ぐ廊下は「鶯張り」となっており、足を一步踏み出すたびに鳥の鳴き声のような音を聞くこともできました。

● 二の丸庭園



御殿を退出したあと二の丸庭園を眺めながら本丸に進みました。二の丸庭園は、池の中央に蓬莱島、左右に鶴亀の島を配置した書院造庭園です。

天皇の行幸をお迎えするため1626年(寛永3年)に有名な小堀遠州により現在の姿に改修されました。

● 本丸・天守閣跡



＜東橋と本丸櫓門＞

二の丸公園を抜けて東橋の前に立つと、それまでの優美さからガラッと変わって、重厚堅固な石垣が目の前に広がります。京都の中心にある「城」の威容が伺い知れるようです。この橋を渡り本丸櫓門をくぐると二条城の本丸です。

本丸御殿は残念ながら2007年から耐震補強工事に入っているため、建物全体が巨大なテントで覆われており見学することはできませんでした。工事の完成、見学の再開は2023年ということです。



本丸の南西隅に、かつて伏見城より移された五重六階の天守閣がありました。

1750年（寛延3年）に落雷で焼失した後は、再建されることなく、石垣だけが残されています。

見学の最後は、再び東大手門に帰る清流園を通りました。この庭園は1965年（昭和40年）に造られたもので、往時の二条城を偲ぶものはありませんでした。

僅か2時間の探訪でしたが、二条城を深く理解するためのヒントが得られた活動でしたので、再度ゆっくりと訪れてみるのも良いかと思います。

